

2023年9月4日

Audi Q6 e-tron、アウディの新しいデザイン哲学をインテリアに適用

- ユーザー最優先に：乗員のニーズと要望を中心に、スペース、構造、機能をデザイン
- デジタルステージ：彫刻的な造形と曲線を生かした独立型助手席側ディスプレイと拡張現実（AR）ヘッドアップディスプレイによるデジタルコックピット
- 素材を重視したデザイン：立体的なデザインの採用により、明るく広い快適な居住空間を創出

（ドイツ本国発表資料）2023年9月3日 インゴルシュタット/ミュンヘン：インテリアからデザイン。新型 Audi Q6 e-tron のインテリアは、これまで以上にユーザーのニーズを配慮してデザインが見直されています。例えば、立体的な造形とコントラストカラーを組み合わせたデザインを採用したインテリアは、それぞれの要素を意図的に遠近に配置することにより、人間工学的な快適さを追求するだけでなく、見た目にも美しい空間となっています。Audi Q6 e-tron は、新開発のプレミアムプラットフォーム エレクトリック（PPE）と新しい E³ エレクトロニクスアーキテクチャーをベースに開発された初のモデルシリーズです。今回のインテリアのデザインと機能の刷新は、これらの技術を基盤として進められました。Audi Q6 e-tron は、高度なテクノロジー、美しいデザイン、持続可能性がバランスよく取り入れられています。

Audi Design 責任者 マーク リヒテは、次のように述べています。「私たちは今、間違いなく自動車デザインの歴史において最もエキサイティングな時代を生きています。それを象徴する要素が、包括的なデジタル化、持続可能性と自由なパーソナルモビリティの重視、そして新たに定義した有意義で贅沢な時間です。この新しい時代において、斬新でクリエイティブな発想を持つ人は、真の革新とは何かを問いか、これまでの常識にとらわれずに、インテリジェントな新しい答えを見つけることができるでしょう。この考え方は、アウディの新しいデザインプロセスの出発点となりました。つまり、お客様がクルマの中で、そしてクルマと共に何を体験したいと考えているのか、ということです。お客様のニーズと要望が空間を形成し、これが構造や機能へと発展するからです。私たちは車両のインテリアを、お客様の生活と体験の中心であると理解しています。そのため、これまでの状況を一から見直し、車両を内側から外側へと体系的にデザインしました。Q6 e-tron は、私たちのビジョンを具体的な形にして示しています」。

インテリア：統一されたデザイン

Audi Q6 e-tron のインテリアは、クリアな造形により居心地の良い雰囲気になっています。ソフトラップと呼ばれるトリムは、ドアからコックピット全体に沿ってセンターコンソールにまで広がり、調和の取れた乗員を包み込むようなスペース感覚を生み出します。シートには、斬新なカラーと高品質な素材を使用しています。一部にはリサイクル素材を取り入れています。

これにより、すべてのインテリアコンポーネントが統一感のある1つの空間としてデザインされ、乗員は繭の中にいるような心地よさを感じます。素材は機能性を念頭に置いて選択され、インテリアの様々なエリアに、それぞれのデザインを生かして取り入れられています。各エリアは、広い面積とソフトな素材を使用することにより、特に快適性を重視しています。対照的に、操作エリアは精密なデザインが特徴で、車両との対話が明快に行えるよう、高品質なハイグロスブラックのタッチパネルを採用しています。

操作系は、素材の密度と質を高めることで、より強い存在感を表現しています。インテリアトリムは、デザイン要素としても機能しています。この考え方は、広々としたスペース感覚を提供すると同時に、快適性と居心地の良さだけでなく、明快さも生み出します。水平に設置された低くスリムなエアVENTが、イ

インテリア全体に一体感をもたらします。「ブラックパネル」を採用した一連のコントロールスイッチは、運転席側のドアハンドルに統合されており、モダンなインテリアと完璧に調和しています。この操作パネルには、ドアミラーの調整、シートとドアの機能、ライトと視界の設定など、最も重要な機能が含まれています。

持続可能で美しい素材：Dinamica および Elastic Melange ファブリック

ソフトラップと呼ばれるトリムに使用される素材の一部は、持続可能な方法で生産されています。例えば、S line のソフトラップでは、100%リサイクルポリエステルから作られた Elastic Melange（エラスティック メランジ）ファブリックが使用されています。コントラストステッチが施されたスポーツシートも、オプションで Elastic Melange が用意されます。標準シートとヘッドライナーにオプション設定となる Argument（アーギュメント）ファブリックも同じ素材から作られています。S line および S モデルでは、スポーツシートプラスもオプションでリサイクル素材 Dinamica（ダイナミカ）マイクロファイバー、またはダイヤモンドステッチが施された上質なナッパレザーで提供されます。インストルメントパネルの表面は、ポルケーノグレーのファインペイント仕上げが標準となっており、その一部には、再生可能な素材が使用されています。あるいは、ウッド（ライトブラウンのスイートガムナチュラル、ストーングレーのバーチリニアナチュラル）やアルミニウム（アンスラサイトカラーのマットブラシ仕上げ）を選択することも可能です。S line および S モデルでは、アンスラサイトカラーのマットブラシ仕上げによるアルミニウム、カーボンマイクロツイル、アンスラサイトカラーのハイテクメッシュが用意されています。ハイテクメッシュは、リサイクル素材から作られ、手触りのある質感、斬新な表面をもつ、革新的でテクニカルなポリエステル生地です。フロアマットは、Econyl（エコニール）製で、古い漁網、カーペット、産業廃棄物をリサイクルした素材が使用されています。

PPE：日常走行に最適な広さ

Audi Q6 e-tron は、アウディの DNA を体現しており、印象的な走行性能、充電性能、革新的なテクノロジーを完璧にバランスさせています。電気自動車専用開発された新しい PPE プラットフォームにより、日常走行に適していると同時に、明るく広々としたインテリアも特徴としています。例えば、インテリアには様々な収納スペースやトレイが用意されています。センターコンソールには2つのカップホルダー、携帯電話充電トレイ、2つのスマートフォン用充電ポートが備わっています。センタートンネルのない電気自動車の特徴として、足元スペースが広く、リヤシートへの乗り込みが容易で、リヤセンターシートの座り心地も優れています。

トランク容量は 526ℓ です。リヤシートを折りたたむと、収納スペースは最大 1,529ℓ まで拡大することができます。リヤシートは分割可倒式（40：20：40）です。ボンネット下のいわゆるフランク（フロントトランク）には、さらに 64ℓ の収納スペースがあり、充電ケーブル（モード 3）や小型の旅行バッグを収納することができます。

独立型の曲面ディスプレイを備えたデジタルステージ

ソフトラップと呼ばれるトリムで構成されたインテリアのハイライトは、アウディ MMI パノラマディスプレイと MMI 助手席ディスプレイを組み合わせた「デジタルステージ」です。明確にグループ化されたこれらのディスプレイは、インテリアのデザインコンセプトに完全に統合されており、明るく広々とした雰囲気を醸し出しています。スリムな独立型アウディ MMI パノラマディスプレイは、曲面デザインと OLED（有機 LED）テクノロジーを特徴とし、11.9 インチ アウディバーチャルコックピットと 14.5 インチ MMI タッチディスプレイから構成されています。ドライバーの手の届く範囲はアーチ状に設計されており、曲面形状のディスプレイが採用されています。また、曲面ディスプレイの形状は、エクステリアデザインの特徴となっているシングルフレームを想起させます。特別なアンビエントライトの採用によ

り、夜間は曲面ディスプレイが宙に浮いているように見えます。

この「デジタルステージ」は、助手席側にも、ダッシュボードのデザインにも完全に統合された独立型の10.9インチ MMI ディスプレイが装着されています。シャッターテクノロジーを備えたアクティブプライバシーモードにより、助手席乗員は、ドライバーに気兼ねすることなく映画や動画を鑑賞することができます。同時に、助手席乗員は、このディスプレイにナビゲーションを表示させて、ドライバーをサポートすることもできます。標準バージョンでは、助手席側インフォテインメント ディスプレイにはハイグロスブラックが採用されています。

オプション設定の拡張現実 (AR) ヘッドアップディスプレイ (HUD) は、アウディのディスプレイテクノロジーの大幅な進化を体現しています。ドライバー前方には、フロントウィンドウを横切る大型のイメージ画像が投影され、速度、道路標識、各種アシスタンスシステムの情報、ナビゲーションシステムのアイコンなどが表示されます。画像は前方に傾けられ、強化された AR 体験を提供します。ドライバーは、表示される情報に簡単に焦点を合わせることができます。このプロセスと高度なバーチャルイメージにより映し出された情報は、ドライバーから最大200mの距離に浮かんでいるように表示され、周囲の環境と一体化しているかのような印象になります。ドライバーは、迷うことなく表示されている内容を理解することができます。このディスプレイは、特に視界が悪い状況で重要なサポートを提供します。AR コンテンツの画像は、ドライバーの視点から約2.2mの対角線上に表示されます。

インテリアを演出するインタラクションライト

さらに、車両と乗員の対話をサポートする、幅広い通信機能を備えたインタラクションライト (IAL) も装備されています。このライトは、インテリアとコックピットを大きな弧を描いて包み込むように設置されています。LEDを採用したこのライトストリップの輝度は、最大1,200cd (カンデラ)です。IALの主な機能は3つで、まず、ウェルカム機能などインテリアを演出する機能の他、車両の施錠、開錠も表示します。IALはアンビエントライトと統合されており、IALが作動していない場合は、アンビエントライトと同じ色で表示されます。

さらにIALは安全もサポートします。例えば、ダイナミックターンシグナルを視覚化して点灯します。しかし、IALは補足的なディスプレイであり、バーチャルコックピットのターンシグナルに代わるものではありません。最後に、充電レベルの表示や充電の進捗状況などの他の情報も視覚化し、パルス光として表示します。インタラクションライトは、アンビエントライトパッケージプラスの一部として提供されません。

アウディ セルフラーニング ボイスアシスタントと app ストアの統合

新しいエレクトロニクス プラットフォームにより、これまで以上の車両でのデジタル体験をアウディのお客様に提供します。Audi Q6 e-tron には、新しい E³ アーキテクチャーをベースにした初の車両として、完全なコネクテッド機能を備え、高度なデジタル化を実現したインテリアが装備されています。これにより、様々な機能がインテリジェントに連携し、新たなインテリア体験と革新的な機能を提供します。

同時に、アウディは、ソフトウェア会社 CARIAD と共同開発した、まったく新しい統一規格のインフォテインメント プラットフォームを Audi Q6 e-tron に導入しています。このシステムは、Android Automotive をベースとしています。継続的なソフトウェア更新により、すべての車両システムは、常に最新の状態に維持されます。

インゴルシュタットで生産される初の電気自動車、Audi Q6 e-tron を購入したお客様は、この高度なコネクテッド機能から様々な恩恵を得ることができます。例えば、ユーザーはアウディ セルフラーニング

ボイス アシスタントにより、オンラインとオフラインの両方で、多くの車両機能を制御することができます。車両に完全に統合されたアシスタント システムは、今回初めてアバターによって表示されます。このアバターは、「アウディ アシスタント ダッシュボード」と拡張現実 (AR) ヘッドアップディスプレイに表示されます。ユーザーは、「HeyAudi」と発話することで、アシスタント機能を起動することができます。また、他の様々なタッチコントロールや、myAudi アプリを通じて起動することもできます。マルチモダリティ (複数の方法により同様の結果を得ることができる機能) に関しては、新しいディスプレイと操作コンセプトにより、音声対話システムを使用して最寄りの充電ステーションを検索したり、タッチディスプレイを使用して (AI により事前に分類された) リストから選択したりすることができます。

ボイスコマンドは、ディスプレイに "see what you speak" とテキストでも表示されます。デジタルアシスタントは、ユーザーの行動から継続的に学習し、可能な限り最高のサポートを提供します。このサポートは、3つのカテゴリーに分類でき、プロアクティブな提案 (文脈により必要な機能をプロアクティブかつ状況に応じて提案)、スマートルーチン (外気温に応じたシートヒーターやエアコンディショナー設定など、繰り返し操作のシーケンスを自動化)、そしてインテリジェントリスト (通話リストなど) です。

ユーザーはお気に入りのアプリを app ストアからダウンロードして、車両ディスプレイ上で直接使用することもできます。CARIAD とそのパートナー企業の Harman Ignite が共同開発した app ストアを組み込むことで、お客様は車内のデータリンクを使用し、MMI タッチディスプレイを介して、人気のあるサードパーティ製アプリに直接かつ直感的にアクセスすることが可能になります。選択したアプリは、スマートフォンを必要とせずに、アウディのインフォテインメントシステムに直接インストールされます。ユーザーは、ボイスコマンドを介してアプリを操作することもできます。

音響精度を最大限に高める 3D サウンドシステム

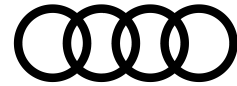
Audi Q6 e-tron にオプション設定される 3D サウンド付き Bang & Olufsen プレミアムサウンドシステムは、最高の音響精度を実現しています。左右の A ピラーに設置された小型のスピーカーの音がフロントウィンドウに反響して、立体的な音が再現されます。音楽は録音されたとおりに正確に再現され、自然で印象的なサウンド体験が得られます。Bang & Olufsen プレミアムサウンドシステムの中心となるのが高効率なアンプです。このアンプは、830 ワットの出力で 22 個のスピーカーを駆動します。その内の 4 個はフロントシートのヘッドレストに統合され、サウンドゾーンと呼ばれる音響体験を初めて実現することが可能になりました。フロントドアの低音スピーカーは別のハウジング内に設置し、周囲のコンポーネントに対する振動の影響が少なく、非常に正確な音が再生されます。これによって、音質を高め、車外への音漏れも抑制、さらに、精緻で豊かな低音域が表現されます。夜間には、照明付きのレタリングがサウンドシステムを演出します。

数多くの機能を備えた Audi Q6 e-tron のインテリアは、「お客様の生活と体験の場」を中心に開発した優れたデザインと高度なテクノロジーにより、これまでは不可能だった方法でユーザーニーズを満たします。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。



Audi Communications
MediaInfo



フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、12カ国21か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界100以上の市場に存在しています。2022年、アウディグループは、161万台のアウディ、15,174台のベントレー、9,233台のランボルギーニ、および61,562台のドゥカティを販売しました。2022会計年度において、アウディグループは総収益618億ユーロ、営業利益76億ユーロを達成しました。世界中で、アウディグループでは2022年に87,000人以上が働き、そのうち54,000人以上がドイツのAUDI AGで働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。
